

# 週報 第3306回

会 長 杉本 憲一 副会長 中 透  
幹 事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
T E L 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumitsu-rc.org  
ホームページ http://izumitsu-rc.org



## 今週の例会 (2025年9月12日) 第3306回

### ■ プログラム

卓話担当 渡辺 万寿 会員  
卓話講師 わたなべ歯科医院  
院長 渡辺 茂文 様  
「口は災いの元 ～健口生活のススメ～」

### ■ 次週のプログラム

9月 19日: 卓話担当 植村 勢彦 会員  
「熱中症対策と人生思い出づくり」

### ■ 今後の予定

- ・ 9月 26日: 卓話担当 簗野 信 会員

### ■ 祝 誕生日

なし

### ■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

### 今月の歌

#### 赤とんぼ

|          |       |
|----------|-------|
| 夕焼小焼の    | 赤とんぼ  |
| おわれて見たのは | いつの日か |
| 夕焼小焼の    | 赤とんぼ  |
| とまっているよ  | 竿の先   |

### ■ 先週の例会

#### 会長の時間



杉本 憲一 会長

戦後80年ということで、泉大津市に、アジア太平洋戦争(第二次世界大戦)に直接関連する史跡があるか調べました。

直接関連はしませんが、2か所アップされました。

- 「春日墓地内のロシア兵墓地(旧日露戦争関連)」
- ・市営の春日墓地に、日露戦争(1904-1905年)で日本に捕らえられ、浜寺俘虜収容所で亡くなった89名のロシア兵が埋葬された墓地があります。墓石にはロシア語と日本語で名前が刻まれており、慰霊碑には「魂よ、安らかなれ」と5か国語で刻印されています。
- ・現在も毎年、泉大津市と在大阪ロシア総領事館関係

者が参加する慰霊祭が行われており、地元に残る貴重な追悼の場となっています。

- ・同墓地内には、太平洋戦争で戦死した日本兵を慰霊する忠霊塔も設置されています

「大津台場」

- ・大津台場（陸軍大津川大砲試験場）は、泉大津市の大津川河口の北側（「大津の鼻」と呼ばれる突出部）に設けられました。幕末から明治へかけ、海防のために大砲が3門据えられ、明治17年（1895年）に大砲試験場として使用されました。
- ・試験日の合図としては 赤旗が掲示され、大砲の轟音は泉大津駅周辺まで響いたという証言も残っています。
- ・太平洋戦争（アジア太平洋戦争）が終結すると、この台場の役割は終わり、跡地には特に史跡や記念碑などは残っていないようです

次に 細則 第3条 理事および役員の選挙に関して

第1節 の指名委員会を開催します。

- 1.会長は次々年度会長候補者を指名するため、毎年9月度例会において、指名委員会の委員を発表しなければならない。
- 2.指名委員会は直前5期の会長経験者、会長、幹事、の7名をもって構成され、うち会長経験者1名が委員長となる。ただし、議決権は会長経験者が有するものとする。すなわち、会長、幹事は意見を述べることができるが、議決権はなく、オブザーバーとして委員会に参加できるものとする。

本日、指名委員会を設置し、臼谷指名委員長より指名委員の発表と、一言挨拶を述べていただきます。  
臼谷指名委員長、よろしくお願いします。

指名委員長の臼谷です。  
委員は、直前5期の会長経験者の臼谷会員、植村会員、南出会員、渡辺会員、（ただし転籍した元上田会員を除く）オブザーバーに会長・幹事を合わせた6名を持って構成、選考致します。

また、会長ノミニーの発表は12月の総会時に発表致します。

幹事報告 細川 嘉則 幹事

- 丹農会員と八木昌彦会員のご状況について。
- テーブルの方にガバナー月信9月号を置かせて頂いておりますので、ご覧頂きますようよろしくお願い致します。
- 本日例会終了後くすのきの間にて、理事役員会を開催しますので、お集まり頂きますようよろしくお願い致します。

委員会報告

- ロータリーの友9月号の読みどころの紹介。  
(森田 真一郎 会報・IT委員長)
- 先週の納涼例会 たくさん参加頂きましてありがとうございました。又、突然のカラオケ大会みたいになりましたが、ご協力頂いて盛り上げて頂きました。参加頂いた皆様、お礼申し上げます。ありがとうございました。  
(山本 博章 親睦活動委員長)

出席報告 会員数40名 出席免除0名

| 月日   | 出席数 | 欠席 | 補充 | 出席率    |
|------|-----|----|----|--------|
| 9/5  | 32名 | 8名 | —  | 80.00% |
| 8/22 | 31名 | 9名 | 4名 | 87.50% |

ビジター

なし

メイクアップ

- 榎本（8/26 ワールド大阪ロータリーEクラブ）
- 根尾（8/21 ワールド大阪ロータリーEクラブ）
- 小野寺、八木（秀）（8/8 親睦活動委員会）

## ■ ニコニコ箱

- ・臼谷会員、本日の卓話よろしくお願いします（杉本）
- ・臼谷会員、本日の卓話よろしくお願いいたします（細川）
- ・臼谷様、本日の卓話よろしくお願いします（川崎）
- ・先週の納涼例会にたくさんのご参加ありがとうございました。楽しませて頂きました（山本）
- ・細川幹事、川崎SAA ありがとうございました（植村）
- ・皆出席の表彰 有難うございました（外山）
- ・皆出席ありがとうございました。欠席のお詫び（原）
- ・欠席のお詫びです。皆出席のお祝を頂き有難うございました（根尾）
- ・日本酒会 楽しかったです。ありがとうございました（寺田）
- ・例会欠席のおわび（今井（克））
- ・早退のお詫び（松内）

|         |          |
|---------|----------|
| ニコニコ箱合計 | 18,000円  |
| 累計      | 151,000円 |

## 先週のプログラム

## 「どうなるかはわかっている？」



卓話担当 臼谷 喜世彦 会員

### どうなるかはわかっている？ せやけどなかなかできへんなあ

1990年代のバブル崩壊以来、激動のだださがりの日本、ジャパンアズナンバーワンといわれた時代は遠くになり、いまやロスト30年の日本と自虐しています。それにしても、バブル崩壊、阪神淡路大震災、東日本大震災+メルトダウン。そして、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の悪化。さらにはイスラエルのガザ侵攻とトランプ政権。自由資本経済とグローバル化がいきすぎ格差が拡大。どこの国も政府がうまく安全と経済をハンドリングできなくなり世界全体がど

うなるかわからん！そんな状況です。

ほんまどうなるか、わからんし、どうないしたらええんやろうかと迷います。

でも、こんな時代背景ながら、「どうなるかはわかっているんちゃうかなあ？」そして、「どういしたらいいのかもわかってるんちゃうかなあ」とおぼろに思っているのですそのお話させていただきます。これまでそんなふうに思ってたのですが、8月19日NHKスペシャルで、「総力戦研究所」という番組をみて、やっぱりそうやなあ、では今度の卓話でこの話をしてみようとおもいました。

総力戦研究所とは太平洋戦争の前に総理大臣直轄機関として設置され1941年7月、開戦がいよいよというときに、ほんまにアメリカと戦争したらどうなるんや？と当時の官僚、学者、軍人が集まってシミュレーションしたそうです。その結果は必ず負ける。それも、最初は勝つけども、1年すれば劣勢に。そして、2年すぎるとどうしようもなくなる。それを本当の戦争が進んでいったとおりに予想していました。予想外なのは原爆投下だけだったそうです。

当時の雰囲気は大和魂があれば、がんばればなんとかなるんではという雰囲気でした。だから安易にと

いか国民が後押しするかたちである戦争に突入し、悲惨な結果に終わったのです。でもそそうなることは必ずそうなりと予測されていたのです。

このようなことは、他にもあります。

いま、年金、医療、介護などの社会保障制度の先行きに不安がたちこめています。また人手不足、景気の悪化など日本の前途にも不安しかありません。その大きな要因は人口減少、少子高齢化にあります。でもこうなることは戦後1940年代後半に予測されていたのです。その時は戦争が終わり、人口が増えていこうとしていたときです。しかし国立人口問題研究所は人口減少、少子高齢化の予想をしていました。

しかし、そんな中目先の人口増加もあって、いまの社会保障制度が確立されたのです。そしてその結果は研究所の予想通りとなり、いまではどうにもならなくなっています。

さらに、環境問題でも同じようなことがあります。いま地球温暖化が進みどうにもならなくなってきました。しかし、1969年イタリアのオリベッティの会長が、地球環境はこのままではまずいということで世界の環境学者を集めてローマ会議を開きました。そして翌年、「成長の限界」という本が上梓され、このままではいくと取り返しのつかないことになる予想されました。その後何度も転換するチャンスはあり、1990年代に、経済成長と環境のバランスをとる方法ということで、「成長の限界を超えて」という本がだされましたが、ここでも人類はその予想に見向きもせずいまの状況に至ったのです。

それではそこまでわかってたのに、なんで判断をまちがってきたのでしょうか？朝鮮戦争後ロシアの捕虜となったばりばりのヤンキーだったアメリカ兵が帰ってくると共産化している事実にはアメリカは驚きました。そこで、なぜそうなるかという研究がなされたそうです。その結果、人間の行動を決める要因があるという研究がすすみ、いまではカルトや研修に使われています。

それが、意思決定を間違える人は、大きく以下の3つの「落とし穴」にはまっていることが多いということです。

落とし穴1: 間違った情報をベースにしている

落とし穴2: 視野や判断基準が偏っている

落とし穴3: 感情やバイアスの<sup>とりこ</sup>虜になる

これまでお話した3つの例は、これらの感情を除外した直接の当事者でない、学者、官僚、軍人だから正しい予測ができたと言えます。私は当事者なのでなかなかむづかしいですが、判断をあやまるバイアスを意識してより間違いの少ない未来予測をしていきたいと思っています。では、そうやって予測した未来にどうやって対応していったらいいのでしょうか？

先日、2025年中小企業経済白書が発行されました。そんな中に、これからの私たちのやるべき答えもあるように思います。そこには、こんなことが書かれていました。

成長にともなういろいろな壁の打破

経営者にないスキルをもつ補完人材の確保

イノベーション&海外展開

自己分析による強みの発見と付加価値創造

希少性、経営の自走化、社会課題の解決

この中で、一番大事なことは、状況を客観的にとらえて広い視野で合理的に判断すること。その判断の際には自分の先入観、偏見をできるだけ持たないことと言えます。このような考えで答えをみつけるにはどうすればいいのか？

聖なる予言 1996年 ジェームス・レッドフィールドという本がありました。そこには、自分にとって必要なものは必ず目の前に現れる。私もそう思います。必要なことが目の前に現れたときにその選択をできるかどうか。その選択の時に判断の間違いのバイアスをどうすればさけることができるのか？それは、一にも二にも、よき友人だと思っています。

私はロータリーにそのような良き友人を作る機会があるとおもっています。ロータリーをはじめとしていろいろなよき会合に参加し自分の判断をよりいいものにしていけたらと思います。



## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか